

第44回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール募集要領



第43回 図画部門 全国文部科学大臣賞・岩手県知事賞
「手作りおにぎり」
一関市立興田中学校 1年 佐藤 瑞実

主 催 岩手県内各JA、JA岩手県中央会

後 援 岩手県、岩手県教育委員会、いわて純情米需要拡大推進協議会
一般社団法人家の光協会北海道東北普及文化局
株式会社日本農業新聞東北支所、JA岩手県信連
JA岩手県厚生連、JA全農いわて、JA共済連岩手

第43回 作文部門 全国優秀賞・岩手県知事賞

「お米の可能性」

一関市立一関小学校 6年 平沢 榎澄

祖父の家の田んぼには、何の作物も植えられていない場所があります。幼稚園の時に、

「田んぼに、どうしてお米を植えないの。」と祖父に聞いたところ、

「国からお米を作ってはだめだと言われているからだよ。」

と教えてくれました。普段から口数の少ない祖父でしたが、ことさらに何も話そうとしなかったことを印象深く覚えていきます。

昨年、学校の社会科の学習で、祖父がお米を耕作できなかった理由が国の減反政策による事を知りました。しかし、昭和四十年代から長年続けられた減反政策は、今年度から無くなり、お米を自由に耕作できるようになりました。これにより、お米の生産量が伸びるチャンスが大きくなると思います。

私はお米を毎日食べても飽きません。その理由は、白米を固めたいたり、軟らかめたいたり、麦や雑穀を混ぜていたり、米粉パンやおもちにしたりと、様々なバリエーションを楽しみながら食べているからです。そのため、ご飯の時にお米を食べないと、食事をした気になりません。そんな大好きなお米の生産量が減少していかないように、どうしていけば良いのか、どんな可能性があるのか、私なりに二つ考えてみました。

第一に考えられることは、現在の世界の和食ブームを利用し、販売数を増やすことです。

最近、テレビや雑誌では、和食の人気について報道されています。フランスなどのヨーロッパの国々や中国では、和食が日常の食生活の一部となっているとのことです。そうした国々に対して、和食ブームという絶好のチャンスを活かし、世界最高品質と言われる日本米の輸出を増やすことを、行政などと協力しあい、進めていくことです。日本米の良さと安全性を世界中の人々に知ってもらうことで、販売してもらえる国と販売量を増やしていけるのではないかと思います。

二つ目は、日本酒の世界進出と一緒に、日本酒の原料である米の品質向上、改善を図ることです。そうすることでおいしい日本酒を作り、世界中の人々から日本酒がみとめられ、販売数の増加が期待できます。

最近、元サッカー選手の方などが、日本酒の世界販売を実施し、世界の日本酒にしようと頑張っています。日本酒の原料はお米です。世界進出に伴って、外国人の味覚に合うお米の品質改善を行うことで、販売数の拡大に貢献できるのではないかと思います。

近年、お米の消費量は減少傾向にあります。本気で考え、今までにないアイデアを出せば、消費量を増加させる方法はたくさんあると思います。なぜなら、日本のお米は農家の方々の努力の結晶だからです。そのような日本のお米を誇りに感じ、毎日おいしく食べていきたいです。

目 次

岩手県コンクール募集要領 1

全 国コンクール募集要領 3

個人作品貼付用応募票（切り取り） 7

応募者一覧表（切り取り） 9

第44回「ごはん・お米とわたし」作文・図画

岩手県コンクール募集要領

【趣旨】

このコンクールは、JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的に実施いたします。

【課題】（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してください。

【主催】

岩手県内JA
JA岩手県中央会

【後援】

岩手県 いわて純情米需要拡大推進協議会 株式会社日本農業新聞東北支所 JA岩手県厚生連 JA共済連岩手	岩手県教育委員会 一般社団法人家の光協会北海道東北普及文化局 JA岩手県信連 JA全農いわて
---	---

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】（枚数・大きさ）

●作文部門

1部：小学校1年生～3年生

（400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内）

2部：小学校4年生～6年生（400字詰め原稿用紙3枚以内）

3部：中学校1年生～3年生（400字詰め原稿用紙4枚以内）

（注）作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください）。

（注）本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

●図画部門

1部：小学校1年生～3年生

2部：小学校4年生～6年生

3部：中学校1年生～3年生

B3判（364×515ミリ）、もしくは四つ切り（380×540ミリ）の市販画用紙を使用。

画材は特に制限しません。（注）地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- (1) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (3) 応募は、ひとり1部門1点です。
- (4) 図画作品でポスター形式（標語・キャップフレーズ文字の入ったもの）のものは応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表（9ページ）を必ず添付してください。記載例は（10ページ）です。校内で選定した際は、全応募総数を記入してください。

- (6) 作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票(7ページ)をつけてください。
つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。(貼り付け見本参照)
- (7) 作品は、県コンクールの審査・表彰式終了後の令和2年2月下旬頃、JAを通じて返却します。ただし、JAではその後に作品を展示する場合がありますので、個人への返却が遅れる場合があることをご了解ください。
- (8) 作品の出版、放送に関する権利は、JA岩手県中央会に帰属します。入賞発表や表彰式、主催者の広報媒体(作品集、次年度の募集要領、ホームページ、テレビ、新聞等)への露出や作品展示などの広報活動、諸事業活動で使用いたします。上位入賞者につきましては顔写真を提供していただきます。ご了解の上、ご応募ください。
- (9) 応募に際して提供された個人情報、承諾なく第三者に提供しません。

【締切日】

令和元年9月6日(金)必着

(応募取りまとめJAを経由して、上記締切日までにJA岩手県中央会へ到着のこと)

【審査委員】

総合委員 八重樫 勝 氏 (元岩手県教育委員会教育委員長)
 専門委員 佐々木 俊 江 氏 (盛岡市下橋中学校指導教諭)
 専門委員 山下 るり子 氏 (盛岡市教育委員会学校教育課指導主事)
 他、岩手県農林水産部、一般社団法人家の光協会北海道東北普及文化局、
 株式会社日本農業新聞東北支所、JA岩手県中央会、JA岩手県信連、
 JA岩手県厚生連、JA全農いわて、JA共済連岩手

【賞】(予定)

- | | | | |
|---|-----|---|-----|
| ・岩手県知事賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 | ・岩手県教育長賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 |
| ・(一社)家の光協会北海道東北普及文化局長賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 | ・(株)日本農業新聞東北支所長賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 |
| ・JA岩手県五連会長賞
作文・図画部門各1名
賞状と副賞 | 計2名 | ・優秀賞
作文・図画部門
賞状と副賞 | 若干名 |
| ・学校奨励賞
作文・図画部門各1校
賞状と副賞 | 計2校 | ・佳作
作文・図画部門
賞状と記念品 | 若干名 |

※応募者全員に参加賞を贈呈する(9ページの一覧表に氏名を記載した応募者のみ)

【入賞発表】

全国コンクール : 令和元年12月上旬
 岩手県コンクール : 令和元年12月中旬
 (応募取りまとめJAを経由して、入賞校、入賞者宛に通知します)

【作品展示】

上位入賞作品については、盛岡市内の商業施設等で展示を予定。
 期間: 令和2年2月上旬に1週間程度。

●送り先および問い合わせ先

最寄りのJAを経由して
 〒020-0022 盛岡市大通り1-2-1 産業会館内 JA岩手県中央会JA支援部
 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール係まで
 TEL: 019-626-8519
 FAX: 019-623-6117
 E-mail: kouhou@jaiwate.or.jp

第44回「ごはん・お米とわたし」作文・図画全国コンクール募集要領

【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

- 1部 小学校1年生～3年生
(400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)
- 2部 小学校4年生～6年生
(400字詰め原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生
(400字詰め原稿用紙4枚以内)

●図画部門

- 1部 小学校1年生～3年生
 - 2部 小学校4年生～6年生
 - 3部 中学校1年生～3年生
- B3判(364×515ミリ)、もしくは四つ切り(380×540ミリ)の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。
(注)地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- (1)作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください。
- (2)作文は本人による直筆を原則とし、パソコンなどより作成した原稿は応募不可とします。
ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。
- (3)作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
- (4)他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (5)応募は、ひとり1部門1点です。
- (6)図画作品でポスター形式(標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの)のものは応募できません。
- (7)学校で応募の際は、別添の名簿(9ページ)を必ず添付してください。

- (8)作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票(7ページ)をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。(貼り付け見本参照)①作品の題名②氏名・性別③学校名・学年・組④学校の所在地(郵便番号・電話番号)⑤J A名
- (9)全国コンクール入賞作品の著作権等は全国農業協同組合中央会に帰属します。

【締切日】

岩手県締切日 令和元年9月6日(金) 必着

【審査委員】

- 審査会委員長 中村 靖彦氏
(東京農業大学客員教授)
- 作文部門 設楽 敬一氏
((公社)全国学校図書館協議会理事長)
- 竹村 和子氏
((公社)全国学校図書館協議会常務理事・事務局長)
- 堀米 薫氏
(児童文学作家、(一社)日本児童文芸家協会理事)
- 真鍋 和子氏
- 図画部門 岡村 泰成氏
(美術家集団「Moss Spirits」代表、日本美術家連盟会員)
- 小柳津 須看枝氏
(日本美術家連盟会員)
- 中馬 誠二氏
(季風会同人、渋谷区文化芸術振興協議会委員)
- 西巻 茅子氏
(絵本作家)

【賞】

- (1) 内閣総理大臣賞
作文・図画部門各1名——— 計 2名
賞状と副賞(記念盾及びお米券、記念メダル)
- (2) 文部科学大臣賞
各部門各部ごとに1名——— 計 6名
賞状と副賞(お米券及び記念メダル)
- (3) 農林水産大臣賞
各部門各部ごとに1名——— 計 6名
賞状と副賞(お米券及び記念メダル)

- (4) 全国農業協同組合中央会会長賞
各部門各部ごとに1名——— 計 6名
賞状と副賞（お米券及び記念メダル）
- (5) 優秀賞
各部門各部ごとに15名——— 計 90名
賞状と副賞（記念メダル）
- (6) 学校奨励賞
内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣
各賞受賞者所属校——— 計 14校
賞状

【入賞発表】

審査会終了後、入賞校、入賞者へ主催者より通知します。新聞などメディアへの発表は、令和元年12月上旬を予定しています。

【主催・後援・協賛】

●主催

農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会
／全国農業協同組合中央会

●後援

内閣府（予定）／文部科学省（予定）／農林水産省／
（予定）全国都道府県教育委員会連合会／全国市町村
教育委員会連合会／日本放送協会（NHK）／全国連
合小学校長会／全日本中学校長会／（公社）全国学校図
書館協議会／（公社）日本PTA全国協議会／（公社）米
穀安定供給確保支援機構

●協賛

全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合
連合会／農林中央金庫／全国厚生農業協同組合連合
会／（株）日本農業新聞／（一社）家の光協会／
（一社）全国農協観光協会

【送り先および問い合わせ先】

最寄りの農業協同組合「作文・図画コンクール」係もしくは
都道府県農業協同組合中央会「作文・図画コンクール」県事務局（2ページ）へ

審査基準は次のとおりです。応募の際にはご注意ください。

作文部門審査基準

“上手な作文”よりも下記の点で“よい作文”を評価する。

1. 課題に沿った作品であること。
2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、かつ、年齢相応の言葉で表現していること（子どもはよく難しい言葉を使いたがるが、年齢に馴染まないものは、好ましくない）。
3. 問題のとらえ方や、考え方が素直であり、かつ自分の意見・感想を率直に述べていること。
4. 自分の生活経験がにじみ出ていること（抽象的、一般的なことのみに終始するものは好ましくない）。
5. 作品全体に希望や明るさが感じられること。
6. 規定の枚数であること。
7. 誤字、脱字がなく、その他の表記も正確であること（誤字、脱字、添削跡などについては減点の対象になります。必要に応じて、本人に差し戻し、清書させてください）。
8. 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出す（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出す）。

図画部門審査基準

<主題のとらえ方について>

1. 子どもらしい発想を尊重する。子どもは時流に敏感なので、のびのびした明るく楽しいアイデアがあるものがよい。
2. 理解させるためディスカッションすること。
3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。

<基準について>

(次のようなものは審査の対象外になります)

1. ごはん及びお米を主題としていないもの。
2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。
3. おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。
4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。
5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの（擬人化したもの）。
6. 石、木片などを貼りつけたもの。
7. 紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。
8. 紙がボール紙のように厚かったり、半紙のように薄いもの。
9. 台紙に貼って応募したもの。
10. ブランド名や企業名など宣伝になる恐れがあるもの。

ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。

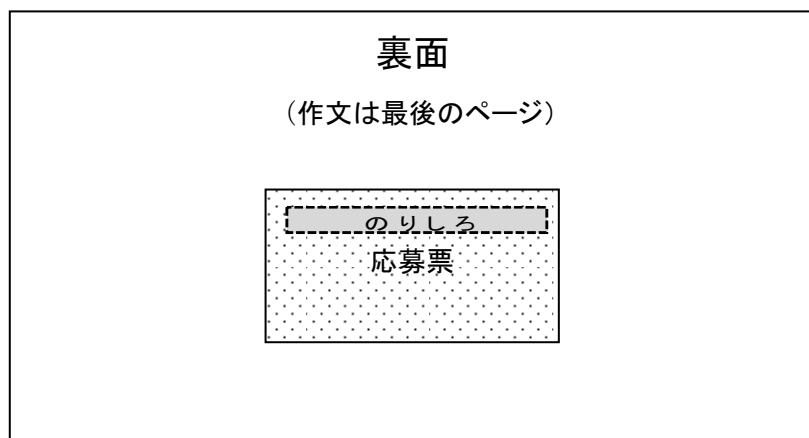
また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。

個人作品貼付用 応募票

作品番号	都道府県コード	作品番号	部門
			作文・図画
作品の題名			
フリガナ			性別
氏名			男・女
フリガナ			学年
学校名		学校	年 組
フリガナ			
学校所在地			
電話番号			
JA 名			

- (注) 1. 必要事項を記入の上、作文は最後のページ中央、図画は作品裏面中央に 下図 のりしろ”部分のみ貼付(のり付け)してください。
 (太い枠で囲まれた部分は必ずご記入ください)
2. コピーして作品に貼付してください。
3. 都道府県コード、作品番号は記入不要です。(県段階で記入します)

【貼付見本】



応 募 者 一 覧 表

学校名 _____

小・中学校

扱いJ A名 (_____)

作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ	性別

※ 上記の児童・生徒を応募するにあたり、校内で選定した場合は、全応募総数を記入してください。

全応募総数 _____ 点

応募者一覧表（記載例）

学校名 盛岡市立 ○○○ ○小・中学校

扱いJA名

JAいわて○○

作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ	性別
図画 1部	2年	岩 手 太 郎	イワテ タロウ	男
作文 2部	4年	盛 岡 花 子	モリオカ ハナコ	女

このコンクールは、岩手県コンクールと全国コンクールの2段階制とします。

岩手県コンクールに応募いただいた作品の中から、優秀な作品を全国コンクールに推薦します。(岩手県コンクールを経由しない作品は全国コンクールに応募できません。)

